

ピクトプリントで作ろう！

予定表

学校の行事は遠足、運動会、卒業式などいろいろあります。行事は集団で行うので自閉的な傾向をもつお子さんにとっては活動に見通しがもてずトラブルが起きることもしばしばです。

そこで写真や絵、PICシンボルを使って活動に見通しがもてるよう「しおり」を作りました。

遠足		<p>(工夫点)</p> <p>学習の予定を写真で表し、児童がする活動をPICシンボルで表しました。その時、自分が何をやるのかが分かりやすいのが特徴です。一つの活動が終わる毎にシール（おしまいマーク）をはってその活動の終わりを確認します。最後は花丸でおしまいです！この方法を応用していろいろなしおりや予定表が作れます。</p>
----	--	---

卒業式です。右側に児童がする活動を表してあります。これでバッチリでした。

1. にやうじよう	
2. はじめのことば	
3. うた（きみがよ）	
4. そつぎょうしきしょうしよじきよ	
5. おはなし	
6. おはなし	
7. でんぱう	
8. おくることば	
9. おおりのことば	
10. きみにあいで	
11. ことう	
12. おおりのことば	
13. たいじよう	
おしまい	

カレンダー（家庭用）

小学部1年生は休日と登校との違いがわからないことが多いので、学校と家のマークを印刷してあります。

分かりやすく伝える工夫

自閉的な傾向をもつお子さんは日常の中で何を求められているのか、何をすればよいのかが分からず不安になりフラストレーションが溜まり問題行動につながってしまうことがあります。

シンボルや絵、写真カードを使うことで理解を助け、問題行動が軽減されることがみられます。

<p>クラス毎に色を変え、クラスの戸にはり、同じカードを作り教室移動の時に見せて促します。</p>	<p>片付けマークを見せながら片付けることを促すと理解でき、上手にお片づけできるようになりました。</p>	<p>健康観察場面でVOCAを使い自分の体調を伝えます。シートにPICを使いました。「頭が痛い」と伝えることができました。</p>	<p>国語の学習（さるかに合戦）でも種を拾ったのは誰？などシンボルと併せて学習することで設問に答えることができました。</p>

(本事例は特別支援学校教諭栗林睦美先生からご提供いただきました。)

ピクトプリントで作ろう！～「LLブック」～

－「パワーポイント」でシンボルを使う－ シンボルを入れたスライドや LL ブック(わかりやすい本)を作る

藤澤和子(日本 PIC 研究会代表)

子ども自身が登場する写真にシンボルを入れて本やスライドを作る方法を紹介します。

絵本に興味がない子どもでも、これを作れば、いっしょに楽しんで写真の本を見ることができます。

また、自分の行った活動の流れを振り返ったり、1つの目的をもった活動の順序を理解するためにも有効です。

たとえば、学校の課題学習場面の「ホットケーキを作る」「大根をうえる」などの活動、給食や朝の会などの生活場面の活動を、スライドや本にします。

<方法>

①対象とする子どもが活動している一連の流れをデジタルカメラで撮影します。枚数は活動内容によりますが、あまり多すぎると流れがつかみにくくなりますので、特徴的な場面を写します。

②写真を「パワーポイント」に貼り付けます。

③写真のスライドにシンボルを貼り付けます。この作業は、できるだけ子どもといっしょに行います。

必要なシンボルを入れたボードをあらかじめ作っておいて、写真を見ながら、ボードのシンボルを指さして、何が写っているか、何をしているかなどについて子どもに質問して答えを引き出します。子どもが答えたシンボルを(修正が必要な場合は、修正しながら)、写真のスライドの下に貼り付けます。シンボルは、子ども能力に応じて、1つでも、語連鎖でもいいです。

貼り付けるシンボルは、「ピクトプリント」でコピーします。

④できたスライドをスライドショーで見ます。アニメーション設定を使って効果を出しても良いと思います。

⑤スライドを印刷して綴じると写真とシンボルでできた LL ブック(わかりやすい本)になります。

簡単にできますので、ぜひ作ってみてください。このようにして実際に作成した例として次に「A 君のホットケーキづくり」を紹介します。(以下の写真の掲載にあたりましては許可をいただいております。ご協力ありがとうございます。)

A 君の ホットケーキ づくり

ホットケーキづくり



スライド 1



スライド 2



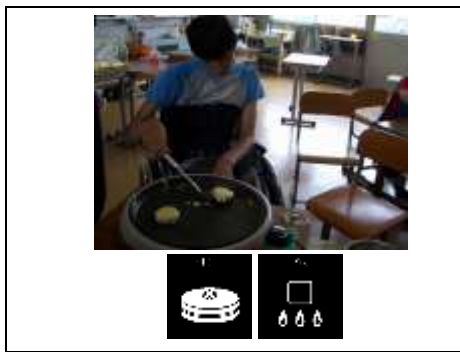
スライド 3



スライド 4



スライド 5



スライド 6



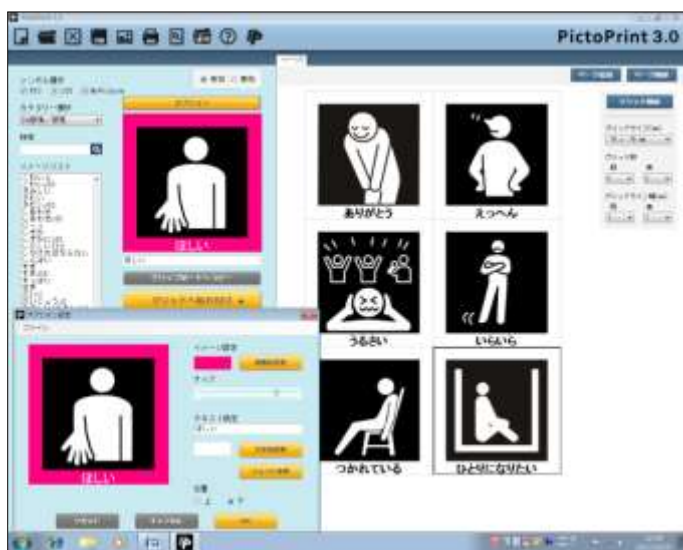
スライド 7



スライド 8

「ピクトプリント」～PIC 簡単印刷ソフト～

「ピクトプリント」は PIC シンボル 2366 個、 JIS シンボル 313 個を網羅しています。



<「ピクトプリント」メイン画面>



「VOCA-PEN」との活用例

- 1、 選択したシンボルをコピー＆ペーストの要領で Word などの他のソフトで使うことができます。
シンボルカードやコミュニケーションブック、スケジュール表、しおりの作成などに大活躍です。
- 2、 シンボルの数・大きさ・並べ方を自由にレイアウトし印刷することができます。
- 3、 シンボルにカラーの外枠をつけたり自由にテキストを入れたりすることができます。
- 4、 デジカメで撮影した写真などの画像データを「ピクトプリント」に取込み同様に編集できます。
- 5、 ほとんどマニュアルを見なくてもソフトの画面を見ながらスイスイ使えます。